

イオンリテール株式会社イオン三原店温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

イオン三原店

(2) 事業所の所在地

広島県三原市城町2-13-1

(3) 業種

5611 百貨店・総合スーパー

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25（2013）年度を基準年度とし、平成27（2015）年度から平成29（2017）年度までの3年間とする。

3 計画の基本的な方向

【イオン環境指針】

私たちは、お客さまへの安全・安心な店舗・商品・サービスの提供を通じて、豊かな暮らしと地球環境保全の両立に取り組めます。取組みの推進にあたっては、環境マネジメントシステムを運用し、定期的な見直しを行い、継続的に改善を進めます。

1. 私たちは、低炭素社会の実現のため、全ての事業活動における温室効果ガスの排出削減に取り組めます。
 - (1) 店舗におけるエネルギー効率を継続的に改善します。
 - (2) 商品のサプライチェーン全体で削減に取り組めます。
2. 私たちは、事業活動を通じた生態系への影響と恩恵を把握し、保全活動を推進します。
 - (1) 持続可能性に配慮し資源管理された商品開発・調達に取り組めます。
 - (2) 商品のサプライチェーン全体で削減に取り組めます。
3. 私たちは、持続可能な資源利用のために省資源、資源循環に取り組めます。
 - (1) 資源のリデュース・リユース・リサイクルを推進します。
 - (2) 環境負荷の少ない原料・資材等を選択するよう努めます。
4. 私たちは、環境側面に関わる法規制等を順守し、汚染の予防に努めます。また、本指針を従業員および当社の事業活動を支えるすべての人々に周知するとともに、広く公開します。
5. 私たちは、お客さまをはじめとする多くの方々とパートナーシップを築き、取組みの輪を広げていきます。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成25年度	直近年度 平成26年度
二酸化炭素	—	3,109	3,131

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成25年度	直近年度 平成26年度
二酸化炭素	—	—	—

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成25年度	直近年度 平成26年度
メタン	—	—	—
一酸化二窒素	—	—	—
HFC PFC SF ₆	—	—	—

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25年度)	削減目標		目標年度 (平成29年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	3,109	5.5	170	2,939
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計	3,103	5.5	170	2,939
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ 排出量は平成25年度を基準年度とし電気使用量年1.0.%削減を目標に取り組むことによりエネルギー起源CO ₂ 排出量を削減する。 電気は中国電力(株)の実排出係数を使用。			

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)							
目標設定の考え方							

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気使用量の3.0%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・商品ごとに「温度設定ガイドライン」を設け冷ケースの管理を実施 ・空調の温度・風量管理の実施 ・食品冷凍室外機に散水装置の導入 ・ISO取組による従業員への省エネ教育の推進 ・省エネ機器の導入
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

弊社は ISO14001 を取得しており、その推進体制に基づき環境負荷の軽減に取り組んでおります。各店舗においては店長を ISO 推進責任者、人事総務課長を ISO 推進担当者として、電気使用量・資材使用量等の削減に取り組んでいます。

(2) 実施状況の点検・評価

総務部が中心となり毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、ISO責任者会議において定期的に評価・見直し等を行い、継続的な改善を図る。

また、毎年度取組状況、点検・評価内容については、計画書とともに公表する。

(3) 計画書等の公表

事業所にて一般の閲覧に供する。